

# 平成 22 年度 伊勢地域公共交通会議 第 3 回 議事要旨

## ■ 開催概要

日時：平成 22 年 11 月 25 日（木）15:00～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-2 会議室

出席者：全 13 名

市民代表 3 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三重交通労働組合執行委員長代理）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 4 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

## ■ 議事内容

### 1. 平成 23 年度の運行（案）について

事務局より、平成 23 年度の運行（案）について、資料を用いて説明。

#### 【平成 22 年度の利用状況について】

二見ルートの日曜日が増えているのは、どういう理由か。ここも子どもさんですね。（市民代表）

⇒ここは子どもは関係ないです。（事務局）

⇒乗務していると、日曜・祝日は買い物ですね。ジャスコへ直通で乗り継ぎなしで行けるという利用者が増えている部分だと思います。このコミバスができたおかげで、乗り換えなしでスムーズに行けますから。（三重交通労働組合執行委員長代理）

⇒もう一つ、光の街が、イベントなどをするとき日曜日に使っているようです。（事務局）

光の街として、このバスを存続させるんだという意識を非常に高く持ってみえて、このコミュニティバスを使った地域行事をされている。それで、五十鈴川駅に來られて、駅からおはらい町まで歩いて來られるとか。子どもたちにバス乗ってみようかとか、おでかけコースみたいな、何かそういうアイデア出しみたいなのをするのが大事なのかなと思います。（市民代表）

⇒小俣では、今年の夏、小俣図書館でコミバスを使って子どもたちとクイズとかもしている。（事務局）

小俣図書館とか環境改善センターとか、老人クラブの催しとかありますから、そういうところでやってもらうと乗ることもあるかもしれない。乗る工夫をしなければ。(市民代表)

#### 【デマンド型サービスの導入について】

デマンドを始める前の平成23年4月から6月の間に、その地域の方とか民生委員とかの中で、デモンストレーションみたいな形とか、電話のかけ方なんかも教えてあげるとか、利用しやすい環境を作っておかないと、多分うまくいかないのでは。(市民代表)

⇒例えば、どこかの会場を借りて、実際、生身で電話をかけて受け答えをするという講習会みたいなものを、何度か地元に入ってやることで、そのあとが決まってくる。(議長)

このデマンドにするところは、もともと乗車率が悪いところだから、その説明が浸透しないと、さらに悪くなるのが目に見えている。(市民代表)

⇒例えば、湯田・新村ルートと小俣元町ルートは、基本的には重複する停留所は入れながら、このエリアの中で一つのルートを設定するというような形が可能でしょうか。(事務局)

⇒ルートについては、この公共交通会議の中で確認がとれば、変えるということは十分に可能です。現在のおかけバスは、定時定路線型のルートと運行ダイヤを決めて走らせる、乗合いバスの事業の形態なんですけど、デマンドということは今想定されているので、予約がなかったら走らないということが基本ですが、その中にも二つあります。

一つは、不定期定路線と言いまして、予約があったときには全てのルートを走る形態があります。もう一つは、区域運行と言いまして、それぞれ運行する区域を町ごとに、この町とこの町をこの区域として指定する。ただし、基本的に基幹とするルート、ダイヤは決めておかないと、かえって不便になるので、公共交通会議の中でしっかり議論していただいて、地元の需要にあった形を見つけていただければと思います。(三重運輸支局)

たまたま、2箇所の予約が入ったとして、最短経路で結ぶ時間はある程度読めると思うんですが、そういう臨機応変な時間を逆にお客さんにお知らせして運行することもできるんですか。何時に待っていてください、何時に参りますと。(市民代表)

⇒そうすると、まったく自由な時間設定になってしまうので、通常はどこでも、ダイヤとかバス停を決めています。そうでないと、利用者が混乱するので、自分の使うバス停と時間が分かりますから、その時間を予約してもらえばそれで問題ないです。走っているのがバスでなくタクシーだと思ってもらえばいいわけです。(三重運輸支局)

デマンド化する、当初の3路線から、4路線目に小木・田尻ルートが追加になっているが、このルートを加えるにあたった理由はどういうところか。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

⇒利用状況のグラフがありますが、これを庁内で検討する会議の中で、どこで線を引くかという検討をする中で、今、小木・田尻ルートは26パーセントの空車というところですが、この4番目のルートについても検証して、デマンド方式でやってみたらどうかという意見がありましたので、今回4ルートでどうかという提案させていただいたところです。(事務局)

多気町の視察に参加させていただいたときにも、やはり、バスと大きな違いというのが、まず、電話予約する手間が一つ余分にかかる分、少し利用は少なくなると思います。かなり、新規の人を取り込まない限りは、今以上の増員が見込めない、場合によっては廃線という考え方もあるかと思いますが、そのあたりはどうお考えですか。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

⇒もともとの主旨としては、空白地を埋めていくという中で、サービスの公平化ということでいくと、まったくの廃止というのはなかなか踏み切れないところかなと思いますので、次の段階として、今のデマンド方式ということで考えています。(事務局)

三重交通のほうで、今、先の運用のことを考えると、この廃止した路線に関わった車両もあると思いますし、これを廃止することによって、他のルートで残すルートのダイヤを変更したり、そのような対応は必要なこともあるのかと思ったのですが、いかがでしょうか。  
(三重運輸支局)

湯田・新村、栗野、小俣元町ルートは、地域的に見ても、非常に隣接したエリアなので、バスの運用というのはちょうどこのエリアで一つのグループでできています。もう一つの小木・田尻ルートについては、他の路線との兼用でバスは運転していますので、こちらのルートからバスがなくなるとなれば、どれだけ減額できるかという、少し他のところに負担がいくのかなというのが事実です。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

実は1路線を減らしたとしても、運行委託費としては、三重交通さんとしては、あまり貢献できないというようなことであれば、利用実態の多い路線の方に、空いてる時間帯で利用促進を図るために投入するとか、そういうふうなことも、もし可能であればご検討いただきたいと思います。  
(三重運輸支局)

デマンド方式にする3ルートすべて小俣になるんやけど、これから小俣の住民とかに説明していく段階で、市は経費を抑えるためにデマンド方式を進めているが、小俣町民自体が、本数減らしてもいいで、今までの路線でと主張してきた場合、市としてはどうしていくのか。(市民代表)

⇒本来ならば、全ての地域で公共交通が充実しているというのが望ましいわけですが、いかに経費のところと見合わせながらしていくかという部分がありまして、この辺は少しご理解もいただきたいところである。(議長)

今の段階では、小木ルートを含める含めないの問題とか、全日運行するのか、日祝運休にするのか、土日運休にするのかとか、その辺のところも今日の段階では、決定はされないということですか。(一般旅客自動車運送事業者代理)

⇒基本的には、今提案させていただいたような4ルートのデマンド方式と全日運行でいこうと考えている。(事務局)

地域公共交通会議として、ご提案いただいた4ルートで、空車割合等を見ると、4割近い空車割合で走っているというのは、非常に効率の悪いのも事実です。今後さらに空白地域への対応とか、さらに既存ルートをもう少し整備するうえでも、やはり、そういう効率化をしていかないと、こ

のコミュニティバスそのものも、持続的なものにする必要はあると思いますので、我々としては一度この4ルート地域を下ろして、協議をしていただくという形で問題ないと思います。

(一般乗合旅客自動車運送事業者)

来年の7月を想定されるということになりますと、どのタクシー業者が落札されるかわかりませんが、乗り合いの事業許可をとってみえない事業者がとられるケースもあります。それで、少なくとも7月を前提に考えれば、運行ルートとか利用者については、3月中に、早ければ早い方がいいんですけども、公共交通会議を通していただいて、利用者の選定までを3月中にしていかなないと、許可申請を出されて3ヶ月は必要になります。(三重運輸支局)

⇒その乗合の、許可申請から許可までのプロセスというのはどのようにするのか。(議長)

標準処理期間というのが、行政の方でありまして、行政指導に基づいて、適切な資料を出していただければ、3ヶ月の間に許可をします。もちろん、指導をさせていただいて、それが直らない場合は、それ以上かかることもあります。ですから、3ヶ月はあくまでも目安になります。7月1日にタクシーを乗合として使われるということは、逆算すると3ヶ月ですから、3月末までには、事業者が申請をいただく必要があります。(三重運輸支局)

4ルートについては、1つの業者に絞る予定ですか。それとも、例えば、小俣地区が1社で、小木・田尻は1社で別にするとかの考えはないのか。

また、路線とかダイヤが決まってきましたら、事務局の方から、我々、事業者を一度に集めて入札に関する説明会を事前に持っていただければと思います。(一般旅客自動車運送事業者代理)

⇒当初、3ルートの時点では、同じ地域ですので、一つの事業者さんと考えておりましたが、一つ、小木・田尻ルートが増えた中で、一つにするのか、二つにするのか、最終的な検討をさせていただきたい。(事務局)

来年、このデマンド型を4ルートで導入するという事で、課題をたくさんいただきましたので、そこを一つ一つ詰めながら取り組んでいく。また、運行日については、全日ということを確認した。

## 2. その他

鹿海・朝熊ルートについて、1月4日、8日、9日の3日間は、パーク&バスライド及び交通規制の関係で大幅にダイヤが遅れることから運休することが確認された。なお、利用者に対し運休の告知をしっかりとるようにとの意見があった。